

## 第 1 回大阪市障がい者スポーツ振興とスポーツ施設のあり方検討会議の概要

## 1 日時

令和元年 6 月 21 日（金）午後 2 時から午後 4 時まで

## 2 場所

大阪市役所 屋上（P 1）階 会議室

## 3 出席者

（委員）

大前委員、岡委員、熊谷委員、黒田委員、津川委員、富山委員、林委員、吉村委員（五十音順）

（オブザーバー）

大阪府福祉部障がい福祉室自立支援課 田中社会参加支援グループ長

大阪市経済戦略局スポーツ部 東スポーツ課長

大阪市教育委員会事務局指導部 西田主席指導主事

社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会 東一スポーツ振興部長

（大阪市福祉局）

中島障がい者施策部長、八木障がい者施策部企画調整担当課長、近藤障がい者施策部企画調整担当課長代理、その他関係職員

（業務受注者）

有限責任監査法人トーマツ

## 4 議題

- (1) 大阪市障がい者スポーツ振興とスポーツ施設のあり方検討について
- (2) これからの障がい者スポーツ振興について
- (3) あり方検討に向けた調査業務の進め方について

## 5 主な意見

- ・ 「障がい者スポーツ」という言葉について
- ・ AI 技術を活用したスポーツや「ゆるスポーツ」など新たなスポーツへの対応
- ・ さまざまなスポーツに関する相談や体験できる場所が必要
- ・ リハビリ・健康増進から競技力向上まで幅広い対応
- ・ スポーツを継続する意欲を保つためにも、パラ競技種目以外の競技でも大会があるとよい
- ・ 共生社会の実現に向けては、地域での障がい者スポーツの広がりが重要
- ・ 障がい者スポーツ関係団体、教育機関、企業等との連携も重要
- ・ 障がい者スポーツセンターを利用するとさまざまな情報を得ることができる
- ・ 障がいの多様化や幅広い利用目的に対応するためには現状の施設規模では限界 など